

公表:令和6年 3月29日

事業所名 プレイ

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏 まえた改善内容又は改善 目標
環境・ 体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			基本的に2階建ての建物なので、1階でおやつ、ミーティング、学びの会、2階で学習、室内遊びなど、活動スペースを分けて、確保して、行っています。	
	② 職員の配置数は適切であるか	○			社会福祉士、保育士がおり、基準配置上の職員が入っています。	
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			古い家屋なので、手すりを付ける、滑り止めを付けるなど配慮できるところはしています。	
業務改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			クラス会議や、業務改善委員会を通して、PDCAサイクルを考え、回しています。	
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者の意見を聞くことで、さらなる福祉支援などの実施につながると考えています。	
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページで公開しています。	
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			外部からのコンサルテーションを受けています。	
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			研修は、年間計画を立てて、1年目からベテランに至るまで、隔々までいきわたるように研修をしています。	
適切な支援の提供	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			アセスメントを必ず、保護者等から行い、個別支援計画作成後、保護者の同意をもらっています。	
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			法人共通のアセスメントシートを使ってアセスメントをしています。	
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			クラス職員、3人が主に話し合い、立案しプログラムの作成をしています。	
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			季節、気候、子どもたちの長期休みなどに合わせて、活動プログラムを作成しています。	
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			子どもたち個人に合わせて、課題や学習進度も考慮して、日々の設定をしています。	
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			子どもの状況や発達に合わせて、活動や個別支援計画を作成しています。	
	⑮ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			職員間の打ち合わせは、クラス会議などで行い、何をするかなど共通理解してから療育に望んでいます。	

	⑩⑥	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			クラス会議やケースカンファレンスを通して、振り返りなどを行っています。	
	⑩⑦	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			記録を確実につけれるように、勤務時間の中に記録の時間を作り、検証改善に繋げています。	
	⑩⑧	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			定期的なモニタリング、計画の見直しなど、利用児に合わせて、柔軟に対応します。	
	⑩⑨	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	○			全職員、ガイドラインの総則に従った支援を子どもに合わせて行っています。	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑩⑩	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			相応のベテラン職員が対応しています。	
	⑩⑪	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			学校との連絡を密に行えるように、学校支援職員を配置し、放デイと学校の連絡調整をしてくれています。	
	⑩⑫	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか					
	⑩⑬	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか					
	⑩⑭	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか					
	⑩⑮	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			法人内にセンターがあるので、連携して、助言や研修を受けることがあります。	
	⑩⑯	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	○			法人内の保育所で、園庭などで交流がある。活動などで地域の人への挨拶などを通して、地域の人との交流しています。	コロナ感染予防のために積極的に交流することはなかったです。感染状況を見て今後は検討します。
	⑩⑰	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			法人の代表が積極的に参加しています。	
	⑩⑱	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			子どものことに関しては普段から、様子や状況を伝える事を大切にしています。	
	⑩⑲	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			CSPを用いて、ペアレントトレーニングをしている。特に、グループカウンセリングの前に行っています。	

保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			面談の時に、時間をかけて行っています。	
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			24時間、365日、相談できる緊急携帯や、普段から保護者と話す機会面談を行っています。	
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			むぎのこババの会、保護社主催のフリースクールなど、連携や連絡をとっています。	
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情は法人では、1番の優先解決事項として、取り組んでいる。苦情処理委員会も法人内に組織されています。	
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			会報、クラスだより、ホームページなどを作り、行事や活動などの予定を情報発信に動めています。	
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	○			個人情報の載っている書類などは、鍵のかかる保管庫にいられています。	
	③⑯	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			あらゆるコミュニケーション媒体を使って、(実際の会話、電話、メール、お手紙など)やり取りしています	
非常時等の対応	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			最近では、事業所の餅まきなどに地域住民の方が参加しております。コロナ前までは、地域の方が参加できるバザーを年2回開催していました。	積極的に交流することはなかったです。今後は状況をみて検討していきます。
	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			面談などの機会に、周知しています。	
	③⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			毎月避難訓練を行い、年1回は大避難訓練で近くの小学校まで逃げる練習をしています。	
	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			法人内の虐待防止委員会で研修や啓発活動を行っています。また、週1回アンガーマネジメントに沿って、落ち着く練習、イライラした時に、その場を他の職員に任	
	④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			個別支援計画作成の際に、保護者に周知し、説明、同意を受けています。	
	④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			必ず、医師の指示書を提出してもらい、その対応をしています。	
	④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			法人でヒヤリハットを集め、そのことで委員会が開かれ、同じこと起きないように取り組んでいます。	

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。